

## 市内小中学生のおもいやメッセージによる

ふるさと・池田のうたづくり

エコスタッフ・池田市環境問題市民会議

中村 昌史

### 1 はじめに

大阪府池田市は環境基本計画の策定にあたり、市民参加を図り計画策定期間も計画の推進と位置付けて、平成11年度より市民・市民団体、事業者、行政による環境にやさしいまちづくりに取り組んでいる。

計画は環境問題市民委員会（市民会議の母体）がまとめた「環境目標像」の実現をめざし、平成14年に策定され、その市民への普及啓発と環境にやさしい行動の実践が課題となっている。市民会議（以下エコスタッフと称す）では市内各種イベントでの普及活動、また市民による環境情報誌「エコジャーナル」の発刊等に取り組んできたが、今回、会員の「池田のまちを愛する心が環境にやさしい行動につながる」との考えから、市内の小中学生を対象に「ふるさと・池田のうたづくり」に取り組んだ。

### 2 うたづくりの取り組み

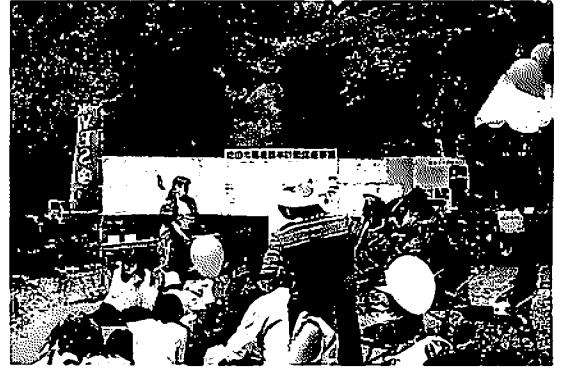
今回の事業は、平成15年7月、市内の小中学校に自分たちが住んでいるまちへの思いや希望などのメッセージ募集のチラシ配布から始めた。市内小学校の担任教諭の協力により、学級全員、保護者、また教員からの応募があった。一行の短文から町の好きなどころを紹介した長文のものまで、12月までに144件の「ふるさと・池田」へのおもいが寄せられた。

その一部を下記に紹介したい。

- ・五月山 どんぐりいっぱい落ちていて とても楽しい竹炭やき (黒田みゆき)
- ・むしのねに みみをかたむける ふるさとのしずかなしずかな 夏のよる (尾崎めぐみ)
- ・子どもの笑い声が響く ハッピータウン 緑いっぱい (岩井陽介)

池田市は大阪府の北西部に位置し、大阪市内からは阪急電車で20分、駅から歩いて15分の位置に

市のシンボル、桜の名所の「五月山公園」があり、緑の豊かな衛星都市である。そのためか、集まった「おもい」は自然に関するものが多くを占めていた。



これらの「おもい」を歌にしたのが、音楽家の西浦達雄さんと夢ふうせんの仲間たち（エコスタッフ有志）である。10月に西浦さんを池田市に招き、市内を案内して池田のまちを体感してもらった。そして、この3月、大人も子どもも親しめる市民の愛唱歌「ここは故郷—池田市ふるさとの讃歌」ができあがった。

「さつき花 さくらふぶき みどりの風が澄みわたる やわらかな春がある

この豊かさよ 温もりよ やさしさよ ここは故郷

むしの音に 耳を傾けてみる ふるさとの静かなしずかな あきの夕暮れ」

(一番の歌詞)

この歌と応募者の「おもい」を詩集「夢ふうせん—ふるさとの讃歌」(400部)にまとめ、市内小中学校や主要公共施設に配布した。また、応募者にはエコスタッフメンバーの心のこもったお礼と熱いメッセージをつけて届けた。

### 3 成果と課題

今回のふるさとのうたづくりは、なにげなく暮らしている町の「かんきょう (ひらがな)」を発見する行為、また歌として成果を永く共有していくことに環境教育として意義があると考え、実施した。おかげさまで、予想を超える応募者があり、

多くの小学生が自分のまわりを故郷として見つめ直してくれたものと思う。

今後のエコスタッフの課題はこの歌をどのように市民にひろめていくのか。事業の目的の市民の愛唱歌に育てていくことである。さっそく今年度の事業計画には「ふるさとのうた広報事業」を組み込み、「五月山春のフェスティバル」ではエコスタッフブース前で歌を流してPRに努めた。「ここは故郷」をツールとして、われわれが参画して策定した「環境基本計画」の推進に地道に取り組んでいきたいと考えている。

本事業にご理解をいただき、助成いただいた日

本環境教育学会に深謝し、報告とする。

参考 池田市ホームページ

<http://www.city.ikeda.osaka.jp>

エコスタッフ・池田市環境問題市民会議

<http://www.ecostaff.gr.jp>

音楽家・西浦達雄氏プロフィール（抜粋）

87年から朝日放送全国野球選手権大会

中継のエンディングを担当。

大阪音楽短期大学非常勤講師